

2025 年度秋季・2026 年度春季 I 期 大学院薬学研究科入学試験
2025 年度第 1 回 大学院薬学研究科外国語試験 出題意図および解答・解答例

<出題意図>

本試験は、薬学研究科の大学院生として求められる以下の能力を評価するために出題した。出題テーマは、医学・薬学分野を中心とし、学術雑誌の論文、症例報告、医療系ニュースサイトの記事から選定した。薬学研究者・専門職として必須となる英語力と専門知識の総合力を評価することを目的としている。

- 専門文献の読解力と理解力：薬学・医学分野の専門的な英語論文や記事を正確に読み解き、その内容を適切に把握する能力
- 論理的な思考力と情報整理能力：複雑な情報を整理し、研究の要点や内容を簡潔かつ正確な日本語または英語で表現する能力
- 薬学基礎知識と専門用語：疾患の概念や薬剤の作用機序などに関する基礎的な薬学知識とそれに付随する専門的な英単語の習得度

【注意】

以下に記載しているものは解答例です。解答例以外にも正解とする場合があります。

2025 年度秋季・2026 年度春季 I 期 大学院薬学研究科入学試験
2025 年度第 1 回 大学院薬学研究科外国語試験 出題意図および解答・解答例

受験番号

A

Answer

1	収縮期血圧の上昇は、糖尿病患者において最も頻度の高い合併症であり、糖尿病患者の心血管疾患リスクを高めるが、最も修正可能な心血管疾患リスク因子である。血圧低下は心血管疾患リスクの低減に向けて明らかに有益であることから、現行の臨床ガイドラインでは 2 型糖尿病患者に対して血圧低下を推奨している。
2	2 型糖尿病患者における、効果的な収縮期血圧コントロールの目標値を明らかにすること。
3	患者は、収縮期血圧 120mmHg 未満を目標とする強化治療群と、収縮期血圧 140mmHg 未満を目標とする標準治療群に無作為に割り付けられ、最大 5 年間治療を受けた。
4	非致死性脳卒中、非致死性心筋梗塞、心不全に対する治療または入院、心血管系を原因とする死亡の複合
5	重篤な有害事象の発生率は、治療群間で同程度であった。ただし、症候性低血圧および高カリウム血症は、標準治療群と比較して強化治療群でより頻繁に発生した。
6	2 型糖尿病患者において、収縮期血圧 120mmHg 未満を目標とする強化治療を行なったときでは、収縮期血圧 140mmHg 未満を目標とする標準的な治療と比較して、主要心血管イベントの発生率が有意に低かった。
7	Intensive Blood-Pressure Control in Patients with Type 2 Diabetes

2025 年度秋季・2026 年度春季 I 期 大学院薬学研究科入学試験
2025 年度第 1 回 大学院薬学研究科外国語試験 出題意図および解答・解答例

受験番号					
------	--	--	--	--	--

B

Answer

問 1

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

Substrate	Metabolic	deteriorate
-----------	-----------	-------------

問 2

A	B
---	---

Brain/ adipose tissue (肝、筋以外の組織)	Pancreas
-------------------------------------	----------

問 3

3-1	3-2	3-3
-----	-----	-----

F	F	T
---	---	---

問 4

Insulin facilitates glucose transport into cells.

(Insulin promotes glucose uptake into cells by stimulating the translocation of GLUT4 transporters to the cell membrane)
--

問 5

糖尿病 (2 型糖尿病)

2025 年度秋季・2026 年度春季 I 期 大学院薬学研究科入学試験
2025 年度第 1 回 大学院薬学研究科外国語試験 出題意図および解答・解答例

受験番号					
------	--	--	--	--	--

C

Answer

問 1

Almost all of the deaths were in Africa, and around three quarters of them were children under five years old.

問 2

小児用のマラリア治療薬は存在するが、これまで、体重が 4.5kg（約 10 ポンド）未満の非常に若い乳児や幼児に特化した治療薬は存在しなかった。

問 3

4

問 4

現在、製薬会社ノバルティスが開発した新薬がスイス当局に承認されており、数週間以内にマラリア発生率が最も高い地域や国で導入される見込みだ。

2025 年度秋季・2026 年度春季 I 期 大学院薬学研究科入学試験
2025 年度第 1 回 大学院薬学研究科外国語試験 出題意図および解答・解答例

受験番号					
------	--	--	--	--	--

C

Answer

問 5

死亡者の 76%以上が 5 歳未満の子供です。

問 6

Q1. 体重が 4.5kg（約 10 ポンド）未満の非常に若い乳児や幼児

Q2. 乳児は肝機能がまだ発達途上で、薬の代謝の仕方も異なるからです。

問 7

Q1. 誤

Q2. 誤

2025 年度秋季・2026 年度春季 I 期 大学院薬学研究科入学試験
2025 年度第 1 回 大学院薬学研究科外国語試験 出題意図および解答・解答例

受験番号					
------	--	--	--	--	--

D

Answer

問 1

2008年、42歳の時に彼女は誘因なく、好酸球性肺炎と診断されて、メチルプレドニゾンによるパルス療法を行われた。

問 2

with

問 3

末梢血好酸球数が $4000/\mu\text{l}$ 、KL-6 637 IU/ml と上昇していること

CT ですりガラス陰影を認めたこと

感染症など他の疾患を除外できること

問 4

The eosinophilia persisted though ABT was restarted, and concomitant use of MTX and (baricitinib 4mg/day was started because of the expected effect of the JAK inhibitor) on hypereosinophilia.

問 5

3 回